



## バイオフィルムによる工業的諸問題を解決します！！

### バイオフィルム形成評価とその抑制についての研究

技術分野分類 5901：金属物性・材料

技術キーワード (3)：表界面・薄膜物性

産業分類 E-16：化学工業

内 容	概 要	工業的な流路管の腐食や閉塞、食品や医療現場での衛生面などあらゆる場所でのバイオフィルム形成による問題が生じています。これらに対して <i>in-situ</i> な状態でのバイオフィルム形成評価を試み、その抑制について材料的観点から研究しています。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	バイオフィルム形成にはその場所や状況によって変化します。遍在性細菌を中心とした複数の細菌に対して、 <i>in-situ</i> な経過観察による定量的・定性的なバ大フィルム形成評価法を提案しております。問題が生じている環境に擬似した評価法であるために、フィードバックが容易であると期待されます。
	本技術の 有用性	実環境に近い状態での評価法であるために、産業的分野及び生活環境分野で問題となっているバイオフィルム形成及びそれに伴う問題に対して即時実用性を有します。
関連情報 (図・表・写真等)		   <p>屋内外でのバイオフィルム形成評価実験の様子</p> <p>高可視光透過性を有したバイオフィルム形成抑制膜の開発</p>
適用可能製品		水環境周辺材料で使用する製品材料、食品医療製品材料 屋外施設などで使用される製品材料など
技術 シース 所有者	氏名 所属・役職	幸後健 鈴鹿工業高等専門学校 材料工学科 助教
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	鈴鹿工業高等専門学校 総務課 地域連携係 TEL：059-368-1717 FAX：059-387-0338 somu@jim.suzuka-ct.ac.jp

#### ■知的財産

#### ■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2015 年 10 月 30 日